

2021年度新入社員向けITエンジニア研修

IT企業の未来を創るエンジニア育成

【運営】



株式会社エンベックスエデュケーション

【社名】 **株式会社エンベックスエデュケーション** embex education Inc.

【事業内容】 ITにおける人材育成事業
- **emTech Academy** (新入社員ITエンジニア研修)
- 中堅社員研修
- 採用支援、採用に関する研修
- ISO研修事業、コンサルティング業務

【代表取締役】 荒木 泰晴

【顧問】 澤田 陽太郎
(元 厚生労働事務次官)

門田 浩
(元 日本電気株式会社 ソフトウェアデザイン研究所 所長)
(元 IPAソフトウェアエンジニアリングセンター 組込み系リーダー)

半田 敏雄
(元 米国三菱重工株式会社 エンジン事業部社長)

【顧問】 山田 功生
(マーケティング) (元 株式会社マイナビ 教育研修事業部 開発部 部長)

【技術顧問】 穴戸 文男
(元 イーソル株式会社 人材育成室長)
(元 株式会社イーソルエンベックス 取締役)

【資本金】 5,000万円



【所在地】 〒102-0083
東京都千代田区麹町5-3
麹町中田ビル5F
TEL: 03-6384-1435 (代)
FAX: 03-6384-1440

全国のエンジニアを元気にする

研修実績



2,800社以上

2009年からの累計

開催地域



39都道府県

過去開催実績

受講者数



12,800人以上

2009年からの累計

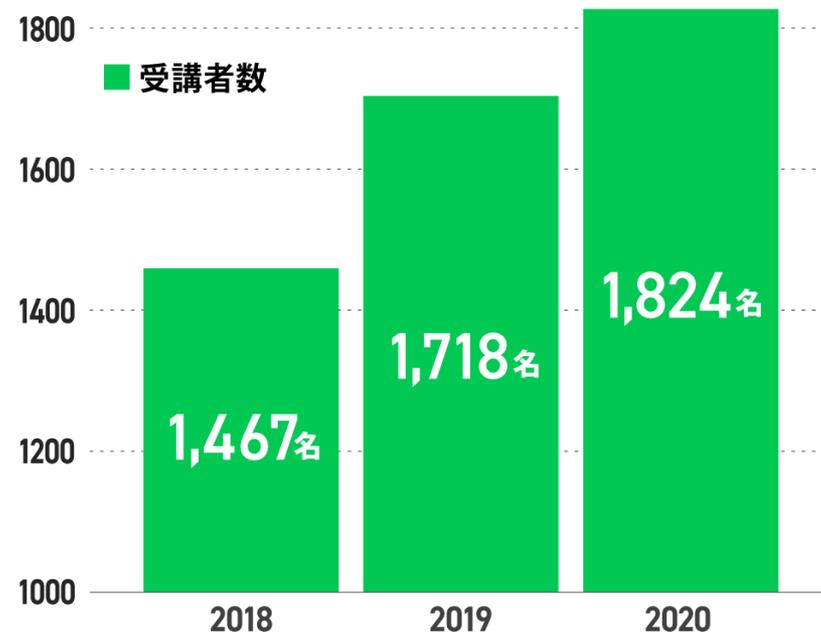
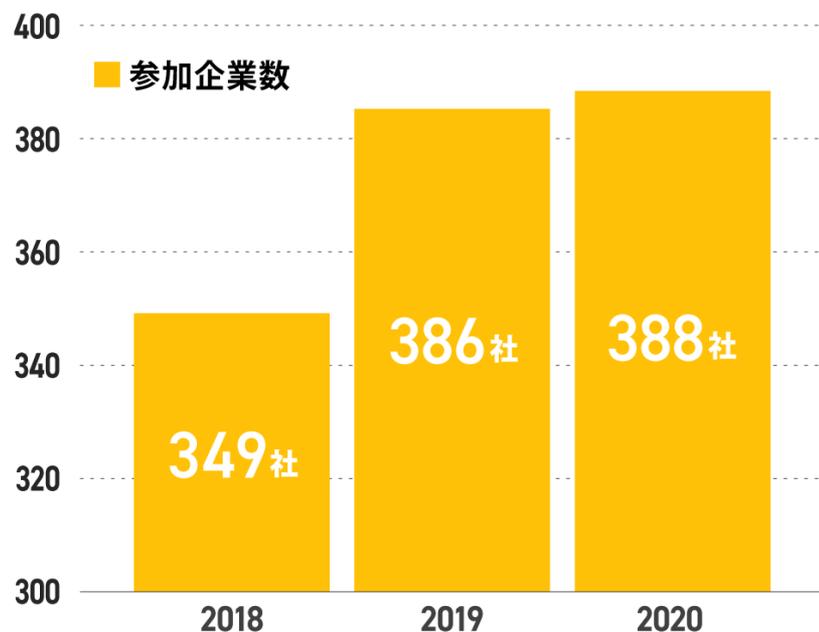


ご協力を頂いている地域ソフトセンター及び団体

- 一般社団法人北海道IT推進協会
- 株式会社ソフトアカデミーあおもり
- 株式会社岩手ソフトウェアセンター
- 一般社団法人秋田県情報産業協会
- 一般社団法人福島県情報産業協会
- 株式会社ひたちなかテクノセンター
- 株式会社フジミック新潟
- 一般社団法人富山県情報産業協会
- 株式会社石川県IT総合人材育成センター
- 山梨県キャリアコンサルティング協会
- 一般財団法人塩尻市振興公社
- 株式会社浜名湖国際頭脳センター
- 株式会社ペントスネット
- 愛媛県情報サービス産業協議会
- 一般社団法人長崎県情報産業協会
- 熊本ソフトウェア株式会社
- 沖縄県ソフトウェア事業協同組合

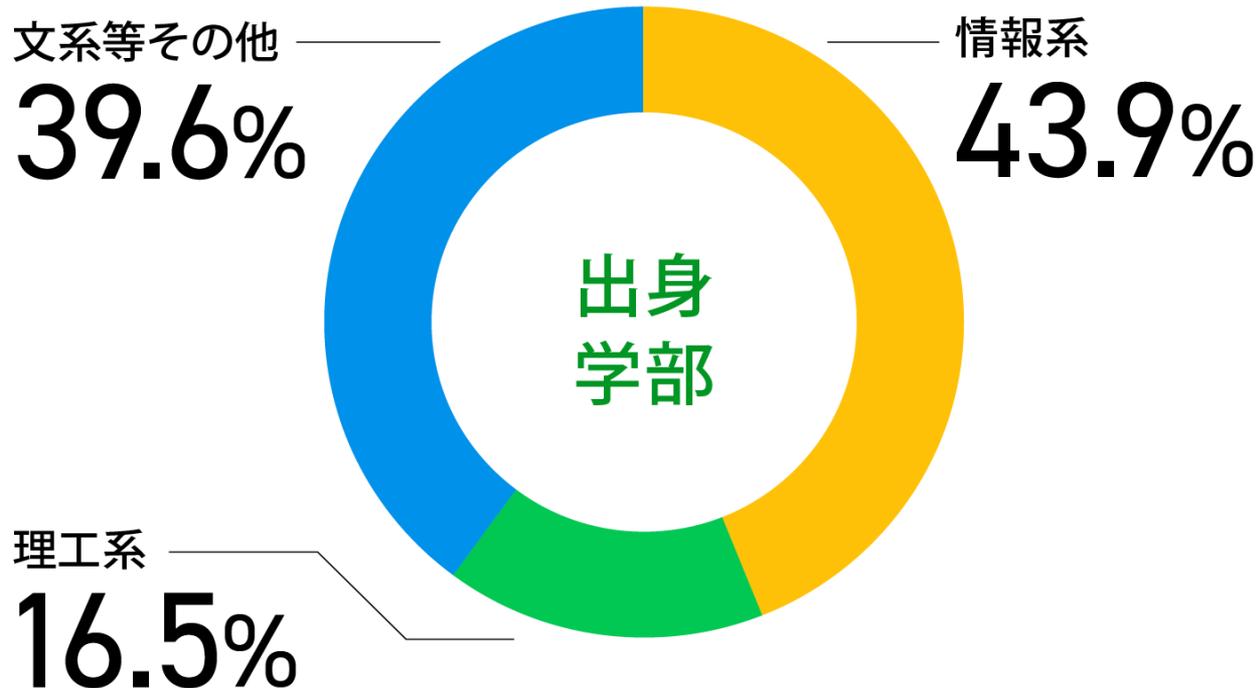
実績からみる emTech Academyの研修

三年間の参加企業・受講者の推移



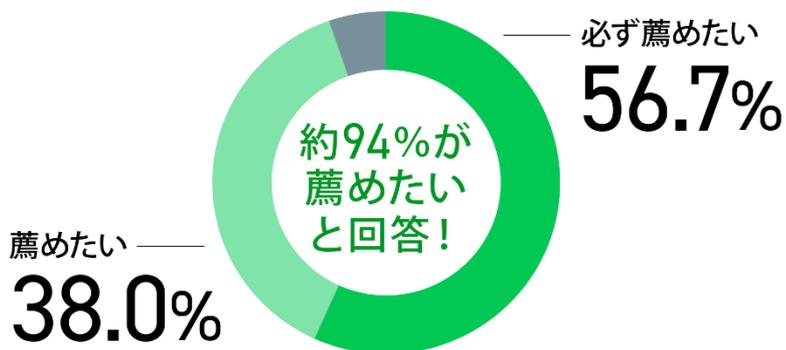
実績からみる emTech Academyの研修

受講者の出身学部

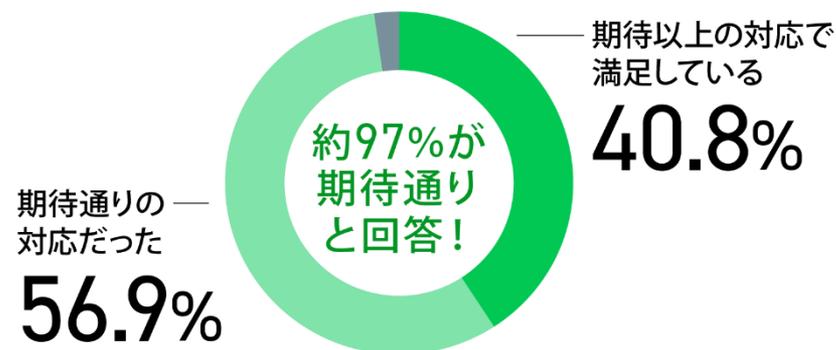


実績からみる emTech Academyの研修

後輩へ勧めますか？



サポートへの満足度



来年の後輩へ研修薦めるかアンケート

受講者で多かったコメント

未経験でもシステムが作れるようになった

経験者だが曖昧だった知識を再学習できた

技術だけでなく社会人としての基礎も身についた

■ 2021年度 新入社員向け ITエンジニア研修のご案内

- 充実した講師体制
- 研修の見える化
- ヒューマンスキルの向上

■ 助成金について

■ Q & A 等





研修の見える化

お客様サポートサイト（研修サポートサイト）

お客様専用のサポートサイトでは、いつでも、どこでも受講者の状況を把握していただくために、研修に関する様々な情報を提供いたします

研修サポートサイト

コース情報



受講者の出席状況



講座スケジュール



講師紹介



会場情報



- 欠席連絡
- 見学予約
- コミュニケーションシート
- 講座ごとのアンケート
- 総合テスト結果の閲覧

等、研修受講に関する情報をサポートします。

タイムリーに
情報更新！

助成金申請の
見える化
【申請サポートサイト】

後程説明いたします

受講者全員の理解度を把握し 適切なフォローを実施 技術知識確認シート

STDE編2015-Ⅱ

組み込み技術者養成コース 技術知識確認シート

会社名: _____ 受講者番号: _____ 氏名: _____

問題の記述が正しいと思うものには○、間違っていると思うものには×、分からない、あるいは、知らないものについては無回答にしてください。
この紙に記入の上、システムへ登録してください。
※もし、正解が分からない場合は、当て推量で○や×を記入せずに、必ず無回答にしてください。
試験時間: 30分

番号	問題	解答
コンピュータ基礎		
1	コンピュータとは特定のな力を実行して特定の出力を得るものである。	
2	コンピュータにおける小数点は固定小数点方式しか扱えない。	
3	4ビットの2進数で1011は10進数では11である。	
4	出力装置はコンピュータの五大要素に含まれない。	
5	現在のほとんどのコンピュータはマイコン方式で動作している。	
6	バイパス処理とはパイプラインの中に複数の命令を詰め、一つの長い命令を完成させる処理である。	
7	キャッシュメモリはメモリの読み書きの高速化に寄与する。	
8	データベースを管理するシステムにおいて問い合わせ言語は QAL(Question and Answer Language)である。	
プログラム開発基礎		
1	データ設計は行わなくても良い。	
2	処理手順書は種別言語でのみ書くことができる。	
3	レビューはプログラム開発における成果物を自分一人で再確認することのみをいう。	
4	データ構造の作りは処理手順に大きく影響する。	
5	すべての処理は関数、変数、返値の3つの手順の組み合わせで表現できる。	
6	サブルーチンとは設計作業で発生する副次的な仕事のことをいう。	
7	フローチャートは基本的に上から下へ、右から左へ流す。	
8	データ設計、手順設計によって、プログラミング言語でデータ構造、処理手順を記述することをソーティングという。	
C言語基礎		
1	C言語では記号を定義してから変数を利用する。	
2	C言語で変数aが0と等しいかどうかの条件は if (a==0)と書く。	
3	C言語の真偽値の経過判定で0以外は無である。	
4	C言語の3つの配列を定義した場合に最後の配列の要素番号は5である。	
5	C言語の関数で戻り値の型は関数の型に合わせる必要がある。	
6	アドレスを参照して値を取得する変数には*である。	
7	ポインタ変数に対して演算は可能である。	
8	printfの出力制御は、"Rowline" 文字列 1 文字列 2)という表記の場合、文字列 1 を文字列 2に置き換える。	

研修開始時と終了時に受講者の
技術理解度の状況を把握
受講者の成長を見える化します

受講者の報告書を研修期間の 中間時と終了後に作成 個人別評価票

個人別評価票 (総合)

受講者番号: 1200210
名前: 藤原 太郎

1. 総合テスト・達成率

総合テスト	前半				後半			
	本人	平均	偏差値	順位	本人	平均	偏差値	順位
前半	70.5%	70.0%	45.0%	65.4%	64.7%	65.0%	95.5%	65.0%
後半	72.0%	81.4%	65.0%	66.1%	76.2%	70.0%	85.0%	67.0%
達成率	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	100.0%	100.0%	75.0%

2. 技術知識確認シート

項目	前半	後半
正答率	5%	0%
無回答率	15%	0%

3. 技術力評価 (5段階)

評価項目	前半	後半
正確性	D	B
迅速性	B	C
理解力	C	C
応用性	B	B

4. 社会人力評価

項目	前半	後半
コミュニケーション	60.0%	100.0%
自己学習	80.0%	100.0%
仕事の本質	88.5%	88.0%
物事としての理解	60.0%	100.0%
責任感	80.0%	80.0%

5. 中間コメント

現在の状況: 基本的な部分に関してはできています。「C言語基礎」の理解度テストの点数が良いですが、これは解題の要にミスをしたためでした。一部、応用的な考え方に対する苦手意識があるようです。演習問題のソースプログラムなど、成果物に対する丁寧さが欠けているところがあります。

今後のアドバイス: 演習問題をよく確認して、理解が深い部分についてはもう少し切り回しを早めようとお勧めします。

6. 総合コメント

現在の状況: 技術面・ヒューマンスキル面の両方において、学習から社会人への成長が見られます。業務としてプログラムをやることに対しての意識が高くなりつつあります。また、前半で取得した成果物の丁寧さが高いことに関しては、改善されています。コーディングに関しては、やや不足しています。

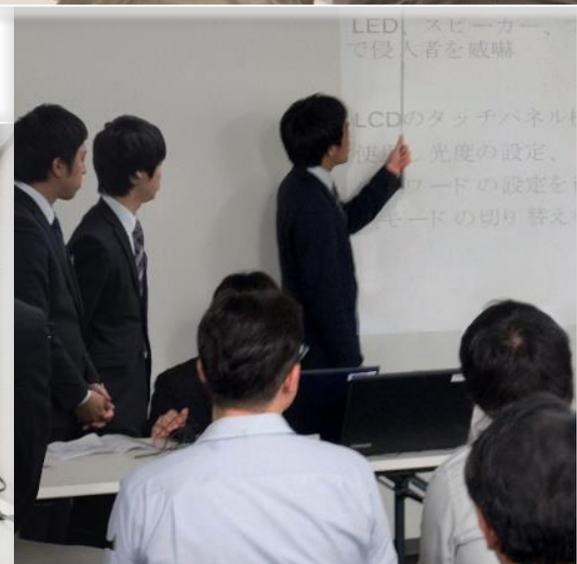
今後のアドバイス: 自分で学習した演習問題「物に組み込みプログラム開発」を、演習場で繰り返し解くことでコーディングの癖を直していきたいと思います。

研修における受講者の総合カルテ
各講座で実施されたテスト類の結果だけでなく、
担当講師から見た受講者の長所・短所や育成に対するコメントなどを記載

番号	講座名	日数	テキスト名	使用機材
1	コンピュータ基礎	2	コンピュータ基礎	
2	プログラム開発基礎	3	プログラム開発基礎	
3	Java言語基礎	4	Java言語基礎	PC
4	Java言語プログラミング	7	Java言語プログラミング	PC
5	Javaデータベース連携	4	データベース基礎 (MySQL) Javaデータベースプログラミング	PC
6	Web技術基礎	2	Web技術基礎	PC
7	Javaサーブレット基礎	5	Javaサーブレット基礎	PC
8	システム開発基礎 (Java)	2	システム開発基礎	PC
9	プロジェクト型演習 (JavaWeb)	9	プロジェクト型演習 (JavaWeb)	PC
	合計日数	38	※『プロジェクト型演習』最終日に成果発表会を実施	

成果発表会

全コース※
最終日の成果発表会は、
すべての参加企業が見学



※ 短期コースは除く



ヒューマンスキルの向上



ヒューマンスキルの向上にも重点をおいており、自分の考えの伝え方、他者の考えの聞き方を学びます。職場や配属先で仕事をスムーズに進めるために、ヒューマンスキルも合わせてトレーニングします。

新入社員の心得 18ヶ条

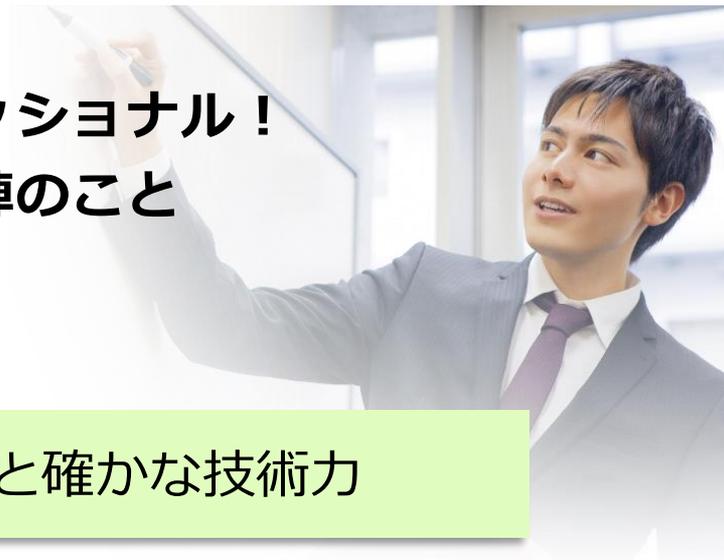
1. 元気良く挨拶をしよう
2. TPOに合わせたお辞儀をしよう
3. 感謝とお詫びを丁寧に使い分けよう
4. きちんと返事をしよう
5. アイコンタクト（相手の目を見る）を意識しよう
6. 話し方を意識しよう
7. 聴き方を意識しよう
8. 言葉遣いに気をつけよう
9. 自分の姿勢を意識して整えよう
10. 社会人にふさわしい服装を身に着けよう
11. 清潔感のある身だしなみを心がけよう
12. メモを取ろう
13. 報告・連絡・相談をしよう
14. 時間を守ろう
15. 就業中、私用の電話・メール・インターネットはしない
16. 体調管理に気をつけよう
17. 会社のルールをしっかりと守ろう
18. 公共の場での会話に気をつけよう



充実した講師体制

emTech Academyの講師とは

厳しい認定試験を突破した教育のプロフェッショナル！
「伝える力」「聴く力」を兼ね備えた講師陣のこと



講師の特徴

開発現場で培った豊富な経験と確かな技術力



講師育成を受講し、高いコミュニケーションスキルと
ヒューマンスキルを修得後、認定試験を実施



全国の会場で均一な高い品質の研修を提供

現役技術者を講師に育成

- ◆ 現役の技術者を2か月間以上かけて講師に育成します
- ◆ 技術面だけでなく社会人としても、受講者の規範となるよう、マナーやパーソナルスキルもトレーニング
- ◆ 講師の品質を確保するために講師認定試験を実施



全研修期間を一人の講師が担当します

- ◆ 受講者と講師の間に信頼関係を築きます
- ◆ 担当者変更による引継ロス、立ち上がりロスがありません
- ◆ ヒューマンスキルなど、長期間にわたる指導で成長を見守ることができます
- ◆ 研修クラスの一体感を生みだし、学習効果が高まります



全国の研修会場を強力にバックアップするサポートチーム

研修を現場の講師の技量のみ任せではなく、
全会場の研修品質を確認する研修サポートチームを設置し、
講師を強力にサポートしています

研修サポートチームは、

- ・ 受講者の日報やテスト結果、講師とのコミュニケーションから
研修会場の状況を日々把握
- ・ 受講者の理解遅れなどが生じた場合、タイムリーで適切なアドバイスを実施
- ・ 講師をバックアップし、受講者が安心して集中できる研修環境を提供



講師（研修会場）



状況共有・把握



研修サポートチーム

A close-up photograph of a person's hands typing on a laptop keyboard. A green circular graphic with a white outline is overlaid on the right hand, highlighting the typing action. The image is framed by a green border with a white crosshair.

助成金について

お客様ごとに専任の担当者を決め 最後までサポートいたします

- 助成金申請に関するガイド
- 研修に関するご意見やご質問 etc
- 助成金申請や研修に対する疑問や不安にお応えします

助成金申請の見える化

見える化によるプロセスの共有

- ①**簡単** 申請の重要ポイントが一目でわかりやすい
- ②**安心** 24時間いつでもチェックできる
- ③**確実** 申請のプロセスやスケジュールが把握しやすい

申請サポートサイト



申請書類について

弊社にて書類の記載方法等のガイドを実施いたしますが、申請代行は実施しておりません。

助成金の申請について

助成金の支給可否は労働局の判断により決定されます。昨年度、弊社のお客様においては助成金が支給されなかった事例はございませんが、各種申請において重大な不備等があれば助成金が支給されない場合がありますので予めご了承ください。

弊社新入社員研修は厚生労働省「人材開発支援助成金」に対応しています

人材開発支援助成金（主に正規雇用の労働者に対して職業訓練などを実施した場合の助成）

企業内での人材育成に取り組む事業主の皆さまへ
傘下の事業主が雇用する労働者に訓練を実施する事業主団体の皆さまへ

人材開発支援助成金 (特定訓練コース・一般訓練コース) のご案内（詳細版）

概要

人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的に促進するため、事業主等が雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。当冊子では●印のコースについて取り扱っております。

特定訓練コース	●
一般訓練コース	●
教育訓練休暇付与コース	—
特別育成訓練コース	—
建設労働者認定訓練コース	—
建設労働者技能実習コース	—
障害者職業能力開発コース	—

PL020401 開金01

詳しくは、厚生労働省または都道府県労働局のホームページをご覧ください。 **あしたを拓く人を創る**

人材開発支援助成金 厚生労働省  厚生労働省・都道府県労働局

特定訓練コース 若年人材育成訓練

特定訓練コース 特定分野認定実習併用職業訓練

人材開発支援助成金の仕組みについて（令和2年4月改正）

計算方法	
①賃金助成	所定労働時間内のOff-JT受講時間数合計×助成額
②経費助成	事業外訓練 受講料×対象者数×助成率
	事業内訓練 経費合計× $\frac{\text{対象者数}}{\text{受講者数}}$ ×助成率
③実施助成	所定労働時間内のOJT受講時間数合計×助成額

限度額および限度時間		
1事業所1年度あたりの助成額	10,000,000円	
1時間あたりの部外講師費	30,000円	
1人1コースあたりの実施助成の限度時間	680時間	
1人1コースあたりの経費助成額	※Off-JT時間数により変動	
	中小企業	大企業
10時間以上100時間未満	150,000円	100,000円
100時間以上200時間未満	300,000円	200,000円
200時間以上	500,000円	300,000円

☆助成金計算のポイント

- (1) 賃金助成や実施助成は申請事業主の所定労働時間や受講者の訓練出席状況により金額が変動します。
- (2) 経費助成は消費税込みの金額をもとに計算します。
- (3) 助成限度額が決まっています。限度額を超えていないか、必ずチェックしましょう。
- (4) 100円未満の金額は切り捨てます。
- (5) 事業外訓練と事業内訓練は対象経費が異なるため計算方法も異なります。

人材開発支援助成金（令和2年4月改正）

推奨する訓練	特定訓練コース 若年人材育成訓練
対象企業	大企業・中小企業 ※中小企業事業主の範囲に関しては「人材開発支援助成金のご案内」p.15をご参照ください
対象者	雇用契約締結後5年未満かつ35歳未満の雇用保険の被保険者 ※被保険者の定義に関しては「人材開発支援助成金のご案内」p.4をご参照ください
対象訓練	Off-JTによる10時間以上の訓練
助成の目安 (※当社新人研修の場合)	大企業：研修費用の 約49% 中小企業：研修費用の 約82% ※受講する研修コースにより異なります

※その他詳細については、厚生労働省が発行している「人材開発支援助成金のご案内」パンフレットをご確認ください

人材開発支援助成金の助成額試算（令和2年4月改正）

若年人材の助成額・助成率		
	中小企業	大企業
①賃金助成	760円/時	380円/時
②経費助成	45%	30%

試算条件	
JavaWebエンジニア養成コース	
Off-JT訓練	38日間（304時間）
対象者数	1人
受講料	680,000円/人（税抜）
消費税率	10%

計算例		
	中小企業	大企業
①賃金助成	231,000円	115,500円
②経費助成	336,600円	224,400円
計	567,600円	339,900円

※100円未満 切捨て

人材開発支援助成金（令和2年4月改正）

推奨する訓練	特定訓練コース 特定分野認定実習併用職業訓練
対象企業	大企業・中小企業 ※中小企業事業主の範囲に関しては「人材開発支援助成金のご案内」p.10をご参照ください
対象者	次の（1）～（3）のいずれかに該当し、15歳以上45歳未満である雇用保険の被保険者 （1）新たに雇い入れた者 （2）大臣認定申請の前に既に雇用されている短時間等労働者で通常の労働者に転換した者 （3）既に雇用している短時間等労働者以外の者 ※被保険者の定義に関しては「人材開発支援助成金のご案内」p.4をご参照ください ※詳細な条件があるため「人材開発支援助成金のご案内」p.36をご参照ください
対象訓練	Off-JTとOJTを効果的に組み合わせた6か月以上2年以下の訓練
助成の目安 （※当社新人研修の場合）	研修費用の 全額助成 も可能
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ❏ 主たる事業が日本標準産業分類における大分類の建設業、製造業、情報通信業のいずれかに該当すること ❏ Off-JTは「事業外訓練」であること

※その他詳細については、厚生労働省が発行している「人材開発支援助成金のご案内」パンフレットをご確認ください

人材開発支援助成金の助成額試算（令和2年4月改正）

特定分野の助成額・助成率		
	中小企業	大企業
①賃金助成	760円/時	380円/時
②経費助成	60%	45%
③実施助成	665円/時	380円/時

試算条件	
JavaWebエンジニア養成コース	
Off-JT訓練	38日間（304時間）
対象者数	1人
受講料	680,000円/人（税抜）
消費税率	10%
OJT訓練	680時間

計算例		
	中小企業	大企業
①賃金助成	231,000円	115,500円
②経費助成	448,800円	300,000円
③実施助成	452,200円	258,400円
計	1,132,000円	673,900円

※100円未満 切捨て

OJT訓練に関する注意事項

- ① **12月末までに**訓練計画決め、大臣認定申請を都道府県労働局に提出すること
 - (1) Off-JTとOJTをあわせて6か月以上かつ425時間以上の訓練を計画すること
 - (2) OJT計画は日毎に「実施時間帯、実施場所の住所、指導員、教科別の訓練内容」が必要
 - (3) OJTはOff-JTと密接な関連を有すると認められる内容であること
- ② OJT実施日は「日時、訓練内容、指導員名、感想」を**対象者本人が毎日手書き**で報告書に記入すること
 - (1) どのような知識や技術が習得できたのか具体的な記載が必要
- ③ OJTは**適格なOJT指導員（自社社員）が常時つく体制の下で実施**すること
 - (1) 労働局の求めに応じて経歴の略歴書や出勤簿の提出ができること
 - (2) OJT指導員は実務経験10年以上であることが望ましい
 - (3) 受講者1人に対して、OJT指導員1人という体制が望ましい
- ④ **OJTは必ず事前計画に沿って実施**すること
- ⑤ **所定労働時間内**に実施されたOJT時間が助成対象
- ⑥ 計画したOJT時間の**80%以上**出席が必要
- ⑦ 訓練期間中の対象者本人と、OJT指導員は、**派遣契約をしないこと**
- ⑧ OJT終了後はジョブ・カードで評価を実施すること

共通留意事項

- ①事業主都合による解雇や退職勧奨がないこと
- ②職業能力開発推進者を選任していること
- ③事業内職業能力開発計画を作成していること
- ④計画届を訓練開始の1か月前までに都道府県労働局に提出すること
- ⑤支給申請を訓練終了後2か月以内に都道府県労働局に提出すること
- ⑥訓練時間の80%以上出席が必要（Off-JT+OJTの場合は、それぞれ80%以上出席が必要）
- ⑦所定労働時間内に実施された訓練時間が助成対象
- ⑧訓練期間中は申請した事業所に在籍すること
- ⑨1社1事業所での1年度における最大支給額は1000万円
- ⑩1人1年度あたり3コースまで活用可能
- ⑪助成金を受給した事業主は国の会計検査の対象となることがあるため関係書類を5年間、整備保管すること

※詳細は厚生労働省が発行している「人材開発支援助成金のご案内」のパンフレットをご確認ください

生産性を向上させた企業は労働関係助成金が割増されます

1. 創設の背景・趣旨

我が国は、今後労働力人口の減少が見込まれる中で経済成長を図っていくためには、個々の労働者が生み出す付加価値（生産性）を高めていくことが不可欠です。

このため、企業における生産性向上の取組みを支援するため、生産性を向上させた企業が労働関係助成金（一部）を利用する場合、その助成額又は助成率の割増等を行います。

2. 生産性要件

① 訓練開始日が属する会計年度の前年度の生産性とその3年度後の会計年度の生産性と比べて**6%以上**伸びていること

② 「生産性」は次の計算式によって計算します。

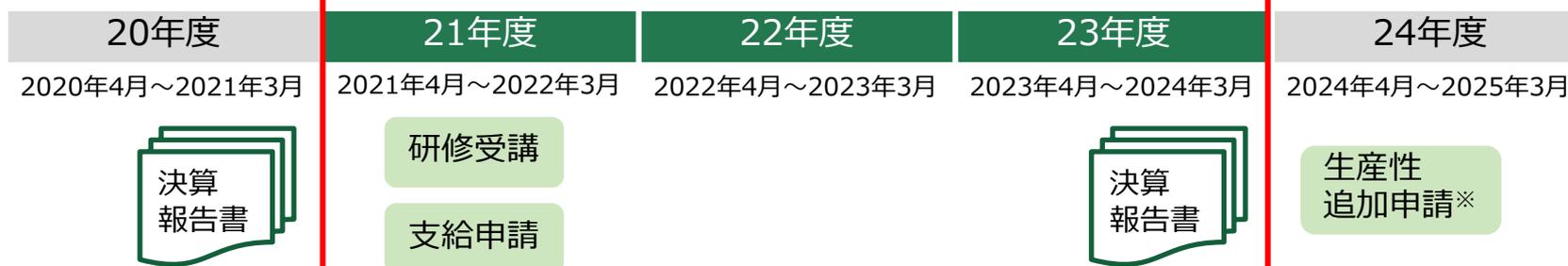
$$\text{生産性} = \frac{\text{営業利益} + \text{人件費} + \text{減価償却費} + \text{動産・不動産賃借料} + \text{租税公課}}{\text{雇用保険被保険者数}}$$

※ 「生産性要件」の具体的な計算方法は、厚生労働省のホームページに掲載されている、「**生産性要件算定シート**」でご確認ください。

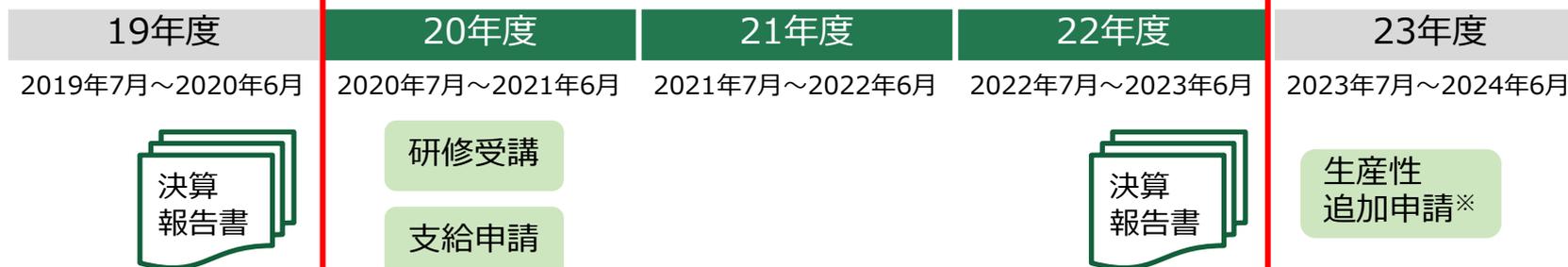
※ 訓練開始日が属する会計年度の前年度の初日からその3年度後の会計年度の末日までの期間について、事業主都合で解雇していないこと。

生産性要件について（令和2年4月改正）

【3月末決算の場合】



【6月末決算の場合】



6%以上伸びていること

事業主都合による離職者（解雇等）がないこと

※決算より5カ月以内に
生産性の追加申請が
必要となります

生産性要件を満たした場合の割増助成額試算（消費税率10%の場合） （令和2年4月改正）

若年人材の割増額の内訳		
	中小企業	大企業
①賃金助成	+200円/時	+100円/時
②経費助成	+15%	+15%

特定分野の割増額の内訳		
	中小企業	大企業
①賃金助成	+200円/時	+100円/時
②経費助成	+15%	+15%
③実施助成	+175円/時	+100円/時

若年人材の計算例		
	中小企業	大企業
支給申請	567,600円	339,900円
生産性追加申請	173,000円	106,000円
合計金額	740,600円	445,900円

特定分野の計算例		
	中小企業	大企業
支給申請	1,132,000円	673,900円
生産性追加申請	231,000円	98,400円
合計金額	1,363,000円	772,300円

助成金について：全体スケジュール

2020年

2021年

2022年



※助成金支給の目安：支給申請提出後4～10か月程度(各地の労働局により変動します)

※申請締め切り間際は労働局窓口が大変混雑します
早めに申込みいただき、余裕を持って申請されることをお勧めします